

ゆりはま 議会だより

Vol. 69

令和3年2月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



泊支所を緊急避難場所へ

2

景観条例を策定

4

特養の整備は

6

住民と議会の意見交換会

15

「コロナもふっとばせ」
(出初式)

泊支所の耐震化にあわせ 緊急避難場所への改修工事に着手

令和2年12月定例会は、12月11日から22日まで開催されました。
今定例会に提案された令和2年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された31議案すべて、原案のとおり可決及び同意しました。
また、議員発議による国に提出する意見書3件を原案どおり可決しました。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ6483万円を減額し、補正後の予算の総額を133億665万円とする。

耐震補強工事に着手

・泊支所施設整備事業
1億65万円

法定耐用年数が残り1年となった泊支所は、新耐震基準により補強工事が必要となった。

また、地震時の津波に備えた緊急避難場所としての機能確保のため、改修工事を行う。



緊急避難場所に改修着手
(泊支所)

地域防災力の強化へ

・消防施設整備事業
209万円

地域の自主防災組織の機能強化、地域防災力の向上のため、防災施設の整備費用の一部を助成する。

- ・引地区
- ・下浅津区
- ・白石区
- ・松崎自主防災会

さらなる定住促進へ

・若者夫婦・子育て世代
住宅支援事業
416万円

若者夫婦・子育て世代の、住宅新築・購入経費を支援し、定住促進をはかる。

新たな申請17件分を増額する。



再稼働を待つスーパースライダー
(潮風の丘とまり)

マスターズに向け最終段階

・グラウンドゴルフふる
里公園施設整備事業
700万円

3年間の整備計画で、最終年工事となる。

モノライダーの修繕、クラブハウスのトイレ改修、屋外ポール時計の改修を行う。

風土記館の展望改善

・森林景観対策事業

160万円

ハワイ風土記館周辺の荒廃竹林などを伐採し、日本海側を見下ろす景色を良くする。
また、森林機能の適正な維持をはかる。

乳幼児の健康を守る

・予防接種事業

716万円

乳幼児の予防接種のうち、特に季節性インフルエンザ、ロタウィルスの接種者が増加したため増額する。



竹林を伐採して良好な景観保全

経済的負担を軽減

・不妊治療費助成事業

91万円

不妊治療による経済的負担を軽減するため、県の助成に上乘せするもの。
当初見込みより申請が多いため、特定不妊治療10件分を増額する。

園区が追加採択

・コミュニティ助成事業

190万円

自治総合センターが事業採択し、集落や団体が助成を受ける。
追加採択があった園区会に対して助成し、テレビなどの備品整備を行う。



備品整備で公民館活動を活性化へ
(園区公民館)

販売価格の差額補てん

・湯梨浜町土地開発公社事業

3240万円

公社が売却した磯なぎ団地の4区画と、売却予定の2区画の簿価と販売価格の差額を補てんする。



徐々に販売が進む磯なぎ団地

その他

☆羽衣石交流センターを地元へ譲渡

☆財産の無償譲渡

「羽衣石交流セン

人事案件

ター」は、平成7年度に国庫補助を受け整備し、管理は羽衣石区に委託してきた。

今後は、自治公民館として羽衣石区に無償譲渡する。

☆湯梨浜町教育委員会委員の人事案件に同意した。

(敬称略)

◇教育委員

市橋 善則

(小鹿谷)

任期は、令和2年12月25日から令和6年12月24日まで。

☆湯梨浜町橋津財産区、宇野財産区、舍人財産区、東郷財産区、花見財産区の管理委員(各財産区7人)の人事案件に同意した。

景観条例策定で、 美しく魅力的な町へ

☆現状は、湯梨浜町全域が鳥取県の景観条例の中に入り、景観保全の対象となっている。
このたびの景観条例は、湯梨浜町の自然景観の保全に取り組み、湯梨浜町が主体的に策定するもの。

【経過・予定】

令和2年に、景観形成条例等の検討委員会を立ち上げ、4回の委員会を開催。今後は、説明会やパブリックコメントを実施し、2月には、町都市計画審議会を開き審議し、県とも協議をしていく予定。



湖周の良好な景観形成へ（出雲山展望）

問 太陽光発電施設が、条例に適合していない場合はどうなるのか。

答 県と相談して、町景観形成審議会にはかり、必要な措置を取っていく。

問 すでに基準を超えた施設については。

答 指導、助言程度で、撤去ということにはならない。

問 耕作放棄地は対象になるのか。

答 景観法だけでは難しいが、協力を願う。

問 空き家などは、この条例で対応できるか。

答 危険家屋については、関連の法律で対処。
景観面では、審議会での指導が考えられる。

問 減額となった主な要因は。

答 返礼率の引き下げ、人気の高い二十世紀梨が揃わなかったこと、サイトの活用が不十分だったことなどが考えられる。

問 最初から梨の数量を確保する契約はしていなかったのか。

答 今後は、JAに一定数の確保を要請していく。

問 この宣言の期間はいつまでか。

☆東郷湖周の41事業者が、連帯して新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底して取り組んでいくことを、県や町と協定締結した。
宣言施設には、ステッカーが掲示される。

安心観光・飲食 エリア宣言



安全宣言で安心して店舗利用
(店舗に掲示されたステッカー)

答 特にいつまでという期間は決まっていない。

問 ステッカーの悪用は心配ないか。

答 宣言後は、保健所と町のチェックが入り、確認しながら取り組んでいく。

「ハワイゆ〜たうん」 存続・廃止を検討

☆女子浴室シャワーの給湯配管が、経年劣化により損傷し、休業している。

1800万円をかけて修繕し、耐用年数である令和6年まで運営する案と、現状と今後の経費を勘案し廃止する案が、町から提案された。委員会では検討後、定例会で修繕費は認められ、存続に向かった。

問 来年の施設調査で、実質的な耐用年数が分かるか。

答 専門の診断を受けるが、どこまで持つかまでは分からないと思う。



存続でも課題が残る
(ハワイゆ〜たうん)

問 修繕後に他の部分が悪く壊れたら、どうするの。

答 令和6年までは、大きな修繕はないと判断している。

問 修繕していけば、令和6年以降も続けていけるのでは。

答 手入れをしていけば、建物自体は引き続き使用可能と考える。

問 露出配管なら安くなるのでは。

答 見た目の問題と、凍結・破損のリスクもある。外壁の防水層を保護する必要もあり、あまり安くならない。

問 修繕工事の工期は。

答 着工後、約3か月の見込み。

交付金の運用見直し

☆コロナ禍により価格低下などの影響を受けた果樹・野菜・花きなどの次期作に取り組む生産者を支援する国の交付金事業。

本町では、当初58人の申請があつたが、国の運用見直しにより21人に減少した。

問 運用見直しの内容。

答 当初はコロナの影響があるなにかかわらず、次期作10アール当たり5万円の定額給付から、コロナの影響

による減収額などを勘案することになった。また、10月30日までの設備投資は、減収の有無にかかわらず上限を設けて対象とすることになった。

問 交付金を見込み、3人が設備投資しているが、申請者は2人。もう1人が申請しない理由は。

答 制度設計に不満を抱いている。

問 町は、この事業で漏れた農家に對する支援を考えているか。

答 町は、この事業で漏れた農家に對する支援を考えている。

問 特に考えている。

答 ない。

泊支所耐震改修工事

問 大幅な増額変更だが、当初から地震や津波を想定した積算ではなかったのか。

答 当初は一般的な耐震指標に基づき設定していた。

今回、緊急避難場所として整備するため、指標値を1ランク上げて、当初6700万円から、1億65万円となった。

問 法定耐用年数はあと一年だが、補強工事ですでに延びるのか。

答 10年から15年延びると想定している。

地域密着型特別養護老人ホーム の整備を検討

☆第8期計画の骨子と基本目標について、推進委員会で案を提示して承認された。計画の構成は、7期とほぼ同じだが、災害・感染症対策に係る体制の整備を追加する予定。

また、地域密着型といわれる、定員が29人以下の特別養護老人ホームの整備を見込んでいる。

問

事業者を既に決めて整備を進めているのか。

答

今後、ホームページなどで公表していく。



境港市に整備された「地域密着型特別養護老人ホーム みなと幸朋苑」

問

建設場所は想定しているのか。

答

場所は、応募してくる事業者が提案する。

問

近隣の自治体で、地域密着型の特別養護老人ホームを整備しているところはあるのか。

また、建設費用の補助はあるのか。

答

県東部と西部にはあるが、中部地区にはない。

鳥取県の医療介護総合確保基金を使った、建設費用の補助制度がある。

介護保険料への影響は

問

地域密着型の特別養護老人ホームを整備するかしないかで、第8期計画の保険料が変わってくる。保険料

が比較できるよう、計画の周知をしてほしい。

答

整備しない場合は、ほぼ据え置きを保険料になると思う。整備した場合と、しない場合の保険料を算定し、周知していく。

中止になった修学旅行

問

修学旅行が中止になったが、代わりになる行事はあったのか。

答

小学校は県内実施に切り替え、羽合小は日帰り、東郷小・泊小は1泊2日で行った。

中学校は3年生を対象に、お小遣いを持ってグループで町内をめぐり、湯梨浜の思い出づくりの授業を行った。

緊急避難場所を整備

☆泊支所の2階を緊急避難場所とするため、耐震レベル強度を1段階引き上げたことにより、工事費が3300万円ほど増加した。

また、地元業者の参入もできるよう工事を分割発注とした。

問

耐震工事にあわせて、山陰合同銀行のATM機を移設してはどうか。

答

できる限り残す方向で、山陰合同銀行と協議していく。

問

銀行の判断だが、費用対効果を考えてと難しいのではないか。

答

町として、しっかり意見を言っていきたい。



住民ニーズに応える受付窓口
(泊支所)

旧羽合幼稚園舎をシルバー人材センターに無償貸し付け

☆令和3年3月1日から10年間、土地・建物とも無償貸し付けする。

問 建物は、建設から40年近く経っている。耐震基準は満たしているのか。

答 耐震診断はしていない。

来年度に向けて、予算計上するか検討をしている。

問 耐震診断を受ける必要があるのか。補助金を返還して、売却するとか、無償譲渡をすればいいのでは。

答 シルバー人材センター側と、無償譲渡を含め協議をしていきたい。

来年度に向けて、予算計上するか検討をしている。



シルバー人材センター会員による作業

教育施策の方向性を示す

☆第2次計画の成果と課題をふまえ、令和3年度から7年度までの5年間の教育施策の方向性を示す「第3次湯梨浜町教育振興基本計画」を策定した。

問 ALT（外国語指導助手）の着任と任期は。

任期は1年。

答 コロナの影響で遅れている。早くても1月中旬頃の予定。

問 1年の任期で、総合的な教育ができるのか。

答 長期の任期が望ましいが、ALT本人の意向もあり難しい。

問 これまでICT教育の機材整備にかなりの経費をかけてきたが、今後の見通しは。

答 児童生徒全員へタブレットの配備や、学校内の通信環境などを、今年度中に完了する。

将来的な経費は、タブレットの更新経費などが見込まれる。

問 家庭での予習復習に係る家庭の負担は。

答 各家庭で、インターネット環境が必要となる。

将来的な課題として、協議検討したい。



通学に欠かせないスクールバス

スクールバスの運行実績減額の理由は

問 減額が大きい。なぜか。

答 委託期間の実績ベースで精算する契約となっている。コロナの影響で休校となり減額した。

問 利用している児童は何人か。

答 基本は実績ベースでの契約だが、想定外の休校なので、委託業者と協議して補てんした。

問 臨時休校は想定外なので、補てんが必要では。

答 東郷小学校が140人ぐらい利用している。密を避けるため花見地区には増便した。

本会議での採決結果

12月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	寺地	浦木	上野	濱中	河田	増井	光井	松岡	米田	竹中	会見	結果
議案第123号 令和2年度湯梨浜町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠席	賛成9人 可決

※議案の採決は、入江議長を除く11人で行います。

※上記以外の議案は全会一致で可決及び同意しました。

陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
保健所の機能強化を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとつとりの会 共同代表 石田 正義 一盛 真 伊藤 英司	採 択 全会一致 (国に意見書を提出)
検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	継続審査
日本学術会議任命拒否問題に係る真相究明等を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	継続審査

町政を問う

12月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
河田 洋一	二十世紀梨栽培面積維持へ支援を	9
上野 昭二	過疎化・限界集落化へ取り組みを	10
	泊庁舎にＡＴＭ機の誘致を	
松岡 昭博	収入保険で担い手育成を	11
	未利用地の管理をどうする	
増井 久美	保育士採用増を	12
	町独自のＰＣＲ検査を	
米田 強美	有害鳥獣対策、捕獲の強化を	13
	水路などの維持管理調整は町で	

二十世紀梨栽培面積 維持へ支援を

町長

農業振興へ向けて検討する



かわ た よういち
河田 洋一



全国で大人気の二十世紀梨の
生産に支援を

【問】①二十世紀梨の栽培面積維持や後継者確保が重要な課題。他の品種から二十世紀梨への植え替えに、既存園の改植や果樹棚の更新に支援ができないか。

②二十世紀梨ハウス栽培における被覆ビニールは、紫外線や汚れのため3年が交換の目安となっていて、多額の費用がかかる。

現状では、一圃場につき一度の町独自の支援制度となっている。2回目以降の交換にも支援ができないか。

【町長】①町では、県の事業のほか「湯梨浜町特産農産物生産振興事業」を制度化して、各種助成を行っている。露地の二十世紀梨の支援では、部分的な改植や棚の更新は補助事業としていない。

梨生産面積は年々減少している。ブランドを維持するには新植だけでなく、現在ある果樹園の維持も重要な要素。農業振興、後継者育成対策の一環として考えてみたい。

②ビニールの使用限度が3年であることなども考慮し、検討してみたい。

過疎化・限界集落化へ 取り組みを

町長

さまざまな取り組みで対応



うえの しょうじ
上野 昭二



空き家や空き地の増加で過疎化に拍車（泊）

【問】羽合地域の新興住宅地域以外では、過疎化や限界集落化が進み、全町の地区コミュニティが疲弊しつつある。しかし、それに対する施策は見受けられない。

地区コミュニティを、正常に維持継続させる施策が必要だと思うが所見を問う。

コロナ禍の現在、都市部では地方への移住が注目されつつある。

過疎対策への新たな一手として、留学制度の導入を9月の一般質問で提案したが、その後の検討状況を問う。

【町長】泊地域では、小さな拠点整備、中央公民館泊分館整備などを進めている。

東郷地域では、多世代交流センターゆりりん館、レークサイド・ヴィレッジの開発などに取り組んでいる。

今後さまざまな手法で移住促進や地域の活性化をはかり、全体的に住みよい町をつくりたい。

留学制度の導入は、受入れ体制などの問題もあり、困難である。

泊庁舎にATM機の誘致を

町長

協議を続けていく

【問】地方銀行の合理化により、泊地域から銀行が廃止となつて約2年が経過し、現在ATM（現金自動預け払い機）のみ稼働している。

しかし、銀行がいつまでも建物を残し、維持管理経費をかけるとは考えられず、将来的にATM撤去が危惧される。

そうなれば、地域住民への影響は大きい。

泊庁舎の耐震補強工事にあわせて、1階玄関付近の一角へATM機を誘致し、地域住民の利便性の維持をはかつてはどうか。

【町長】泊のATMについては、二度ほど銀行と話をした。利便性を考えると存続してほしいが、経費もかかるため、今後どんな方法でATMを維持していけるかを協議している。



泊庁舎への移設が切望されるATM機（泊）

利用実績で判断されるので、区民の方には利用してほしい。今後、区長会でもお願いしていく。総合的なことを考えながら検討していきたい。

収入保険で担い手育成を

町長

収入保険は個人負担が原則



まつおかあきひろ
松岡昭博

【問】農業者は減少し、耕作放棄地は増加傾向にあり、このままでは農業のますますの衰退が懸念される。

農業の維持・発展のためには、担い手農家の育成と、そのことが進まない地域では農地を保全する体制を整備することが必要と思う。

①担い手農家を育成するため、農業者の収入減少を補填する収入保険の保険料を全額負担してはどうか。

②担い手農家の育成が進まないところでは、どのようにして水田を守ろうとしているのか。

【町長】①保険は、個人資産を保全するためのものである。担い手育成とはいえ、保険料の全額を町が負担することは、いかなるものかと考える。

国際情勢や社会情勢などで、農産物の価格が影響を受けることも多く、農業共済から切り替えを進めていく必要がある。

②「人・農地プラン」で、担い手の育成を支援していきたい。

地域農業再生協議会の中に、水田対策部会を設け、課題・対策に取り組んでいる。

収入保険は様々なリスクから農業経営を守ります！

自然災害や病虫害、鳥獣害などで収量が下がった	市場価格が下がった
災害で作付不能になった	けがや病気で収穫ができない
倉庫が浸水して売り物にならない	取引先が倒産した
盗難や運搬中の事故にあった	輸出したが為替変動で大損した

収入保険の対象リスク

未利用地の管理をどうする

町長

行政財産、普通財産管理、柔軟に対応

【問】町所管の土地は、施設の用地や跡地、町道、そして赤線、青線まで多くあるが、未利用地には管理が行き届かず、周辺に迷惑を及ぼしているところがある。

①未利用地が多くあるが、今後どのようにするのか。

また、それらが未利用の間は、施設や土地の管理はどうするのか。

②集落間の旧道でも、緊急時に県道の代替えとして必要な道路は、日頃から十分管理をしておくべきではないのか。



集落内の赤線（浅津地区）

【町長】①行政財産は、利用目的に従って継続使用管理している。普通財産は、町民の方、事業者の方などからの利用相談に柔軟に対応している。

未利用地については、所管課が管理しているが、取り組みが十分でないところもある。

②町道は道路パトロールを実施しているが、管理延長が200キロメートル以上あり、状況把握が困難となっている。

令和4年度に、県が道路維持管理システム導入予定であり、活用方法を検討してみたい。

保育士採用増を

町長

魅力ある職場の環境整備をはかる



増井 久美

【問】①たじりこども園の基本計画に着手するということだが、開所予定はいつごろになるのか。
②保育士が足りないというのだが、なぜ足りないのか。特に羽合地域の子どもが希望する園に入れない。保育士不足を解消するために、打開策はあるのか。
③「町ふるさと人材育成奨学支援助成金」の制度があるが、町の保育士採用に効果はあったのか。

【町長】①旧北涙中の解体工事を考慮すると、令和6年度に開所予定。別の場所となれば用地買収、農地転用の作業などで、さらに1年延長になるかもしれない。
②家庭内保育の推進も、対応策の一環。待遇の改善もはかつてきた。人材育成の研修、園行事の実施方法の見直しなど、魅力ある職場づくりに向け環境整備を進めたい。
③この助成制度は県の制度を補完、上乗せするものだが、保育士の利用はない。いろいろな広報媒体を活用し、利用を促したい。



保育士の増員が課題

【問】①コロナ禍は第3波が来ている。介護施設、障害者施設、学校、こども園、学童保育などを対象に、町独自のPCR検査をしようか。
②年末には帰省者が増える。成人式も行われる。移動の不安を解消し、感染防止のためにも、PCR検査の費用を助成し、ふるさとに帰る人を応援してはどうか。
③個人で行うPCR検査は約2〜3万円かかり、中部には公的な検査体制がない。県に対し体制拡充と無料化を要請してほしい。

町独自のPCR検査を

町長

町単独では、効果は限定的



PCR検査を行う鳥取県衛生環境研究所(南谷)

【町長】①早期発見、感染抑制には一定の効果は認めるが、単町での実施では効果は限定的だと考える。医療圏域での取り組みなら、歩調を合わせよう。
②感染が拡大している地域の方は、慎重な配慮が望まれる。抗原検査の医療機関もほとんど公開さ

れておらず、受け皿の問題でも困難。
③県は相談体制を整え、PCR検査・抗原検査を受けられる機関は複数ある。行政検査は現在の体制を変える予定はない。無料化は、進めにくい状況にある。

有害鳥獣対策、捕獲の強化を

町長

捕獲強化に努める



よね だ つよ み
米 田 強 美



人とイノシシの知恵くらべ
(花見地域)

【問】温暖化の影響か、野生鳥獣が増加している。①新規の狩猟免許取得者は増えているか。狩猟活動につながっているか。また、鳥獣被害対策実施隊に補助者を導入してはどうか。

【町長】①狩猟免許取得者は、平成27年から毎年1人から3人程度取得され、現在30人が取得されている。補助者は捕獲に関する作業はできない。有資格者を法律の範囲でサポートしていく体制づくりを考えている。

②スマート捕獲については、実際の状況がどうなのか研究が必要。対策交付金事業による実証事業として取り組んでみたい。

③檻は現在28台導入されている。今後、台数を増やす予定である。

【問】水路などの法定外公共物は、市町村の財産となったが、利用状況により地域や農業者（土地改良区）がかかわっており、責任範囲においても明確な線引きは困難だと感じる。

①町が率先して負担や管理の調整を行うべきだと思うが、町長の考えは。また、規模の大きな水路の清掃は地元住民では困難だと感じる。町の支援が必要ではないか。

②県から町に譲与された造成地がある。東郷土地改良区との維持管理範囲は明確か。

町長

適正な管理を行う

水路などの維持管理調整は町で



用水路の適正な維持管理が大切
(門田)

【町長】①規模の大きい水路は準用河川に指定し、町が維持管理を行っている。その他の水路は、受益者である地域住民の方々に維持管理をお願いしている。

②平成19年に譲与契約され、本町の定める法定外公共物に関する事務取扱要領により、土地改良区で適正な管理をお願いしている。

なお、農業用排水路については、今年度から受益者の2割負担で事業ができるよう改善された。区長会などで報告し軌

※米田議員は、このほか「ウォーキングコースの景観改善」について質問しました。

長期的なまちづくり

- 問 まちづくり計画にあたり、議会として長期的な考え方を示せるか。
- 答 議会も研究・検討を重ね、行政とともに先を見通せる明るい計画が示せるよう頑張りたい。

旧東郷中学校の跡地利用

- 問 校庭の活用として、災害などに備えた資材、食料などの保管庫を建設しては。
- 答 跡地利用については、今後検討を進めていく。

羽合第2放課後児童クラブ

- 問 建物の周囲へ、防護フェンス設置の必要性は。
- 答 囲った場合に、閉塞感の問題もある。しばらく様子をみたい。
- 問 クラブの運営が、4人の支援員で足りるのか心配している。
- 答 運営基準に沿った人数となっている。支援員の現状を聞く必要もある。検討していく。

新設こども園

- 問 たじりこども園の検討委員会が立ち上がったが、住民の意見を反映してほしい。
- 答 検討委員会の提言が出てから、それを踏まえ次の段階となる。
- 問 保育士不足の手立てを含めて新設を考えてほしい。
- 答 保育士不足解消は、取り組まなくてはならない。

泊地域のこども園

- 問 保育士不足で、泊地域のこども園に入れない人があった。なるべく早く、一時的にあさひこども園に統合してはどうか。
- 答 現在検討していない。委員会の中で、行政の報告を受けてから検討する。

東郷運動公園の遊具

- 問 全遊具を補修するのか。
- 答 修理ではなく、老朽化している遊具を撤去して新しい遊具を新設。
- 問 運動公園全体の活用方法ビジョンは。
- 答 サッカーや野球は試合があれば賑わいがある。普段の公園活用は、委員会で協議したい。

子育て拠点の設置

- 問 旧北渕中跡地に計画されている、たじりこども園に隣接した形で、子育て拠点施設を設置してはどうか。
- 答 たじりこども園は現在検討中であり、支援センターなどの子育て拠点施設については、今後行政とも検討していきたい。

湯梨浜中学校の通学路整備

- 問 中学校建設前に、通学路に関する要望などが多く出されたが、開校後はどうか。
- 答 通学路への街灯設置や歩道整備は、現在も順次着々と進められている。

街路灯設置要望の方法

- 問 通学路の街路灯設置など、要望事項がある場合はどうすればいいのか。
- 答 要望などがあれば、保護者会や学校を通して、役場に要望してもらえばと思う。

意見交換会の報告事項

- 問 報告事項の中で、議会の行政に対するチェックなどの有効性を聞きたい。
- 答 意見交換会の前段は議決の報告、後段は住民から地域の問題点などを聞くことを主題としている。
- 【今後の対応】 意見交換会のあり方について、協議を進めていく予定。

住民と議会の意見交換会を開催しました

8回目となる「住民と議会の意見交換会」を令和2年11月4日（泊地域）、5日（東郷地域）、6日（羽合地域）の3会場で開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、時間を短縮して行いましたが、議会・町政に対して多くのご意見・提言をいただきました。皆さんからいただいたご意見と回答を紹介します。

ハウス栽培の収益確保

- 問 ブドウを農家経営として成り立たせるために、ブドウにプラス何かの産業が必要だと思う。
- 答 行政や農協と一緒に補助金なども含めて、強力で支援していきたい。

区長への住民情報の提供

- 問 区長には転入者の電話番号を知らせてもらいたい。
- 答 個人情報にかかわることであるが、担当課に話をしてみたい。
【担当課回答】 チラシを配るなど、転入者の理解を得るように考えている。

町営住宅の建設

- 問 PFI方式で事業を発注されると、すべて町外業者になるのではと心配している。町内業者の育成をふまえ、議会の考え方を聞きたい。
※PFIとは・・・民間の資金と経営・技術能力を活用し、公共施設などの設計、建設、維持管理などを行う公共事業の手法。
- 答 議会としても、地元業者が参入できるように行政に申し入れる。
【担当課の対応】 町内業者が参入できるように仕様書にも明記していきたい。

泊の人口問題

- 問 老朽化した町営住宅を分譲したら、その数だけ新規に建て、住民を増やすことを考えてほしい。
- 答 過疎法で有利な補助金を利用しながら取り組んでいきたい。

過疎化対策

- 問 泊地域には商店がない。今後のまちづくりをどう考えるのか。
- 答 移動販売車が2台増える予定。今後も地域のニーズに応じた施策の展開が必要だと思う。

漏水対策と水道管の更新計画

- 問 町内の漏水状況は。また、今後の水道管の更新計画は。
- 答 漏水を少なくして、有水率を上げていく取り組みを続けている。
水道管の更新は、水道ビジョンに従って取り組んでいる。

上下水道料金の改定

- 問 コロナ禍で事業所の負担も大きく、それも加味したとのことだが、どのように加味されたのか。
- 答 多量に水を使用される事業者については、基本料金の率を下げたの対応と聞いている。

観光行政

- 問 観光にかかわる担当課、観光協会のスタッフが圧倒的に少ない。増員をして、充実させればと思うが。
- 答 所管課を含めて聞いてみたい。
【担当課回答】 現状の業務において、人員は不足していないと認識している。

町民インタビュー

「イチゴとサーフィンと湯梨浜町」

松山 俊男 さん（旭）



私は大阪から8年前に農業を始めるために移住してきました。それまでは庭木に水やりもしたことがないサラリーマンでしたが、1年半農業研修を受けて、土いじりを始めると、とにかく楽しくて多くの人に喜んでもらえるであろうイチゴ作りに決め湯梨浜町で就農しました。

湯梨浜町は海が近いので、時間を見つけては趣味のサーフィンを楽しんでいます。「イチゴ時々サーフィン」って感じですよ。奥さんは、「サーフィン時々イチゴちゃんのん？」って笑っていますが…。

鳥取に来てから私は農業とサーフィンで、奥さんは農業女子が集まったA-Nyovaでマルシェに参加したり、湯梨浜町が主催するココカラ体操や、あやめ池のヨガや、年甲斐もなくボクササイズで体を動かすと共に、多くの友達作りに励んでいます。

会社員時代は残業、外食の毎日で、不規則な生活をしていたのが、鳥取に来てから適度な運動と規則正しい食事をするようになり、日増しに健康になりました。

やはり都会の生活は便利です。大阪で遊びに行きたければU S Jをはじめ娯楽

施設が身近にいっぱいありますし、買い物をするのにも、食事をするのにも事欠きません。交通機関も近場であろうが遠方であろうが都合さえつけばいつでも行けます。

ここ湯梨浜町に移住してきて、つくづく感じるのは、今までの都会生活は便利な反面、誘惑やストレスが日々のしかかる生活だと言えるでしょう。コロナの影響で、経済活動や生活が制限された状況ではなおさらでしょう。

仕事もリモートで事足りる企業や個人事業主が、都会で商売する矛盾点に気づいて、湯梨浜町に移転するようになれば、皆幸せに暮らせるのにと実感しています。



編集後記

明けましておめでとう
ございます。

一昨年より流行した
コロナウイルス感染症の
猛威は、いまだ衰え知らず
です。

近頃は、妙に慣れてし
まい、危機感が薄れてき
ているように感じるの
は、私だけでしょうか。

もうすぐワクチン接種
が始まるうとしています。

しかし、これまでと同
様に、予防対策の継続が
大切です。

皆さん、共に乗り越え
ましょう。

（記 上野）

【編集】

議会広報常任委員会